

## <会長挨拶>

平素は本校の PTA 活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本来であれば、総会の場で直接ご挨拶をすべきところですが、新型コロナ対策として書面総会として総会を実施することとなったことから、このようにスペースをいただき、ご挨拶させていただきます。

さて皆様もご承知の通り、新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっており、日本においても、1万8千名以上の方が感染され、900名以上の方が亡くなるなどの大きな被害がでております。幸いにも日本国内においては小康状態となり、子供たちが学校に通えるようになりました。とはいえ、校内生活においては可能な限り三密を避ける必要があり、スケジュール面では夏季休暇と冬季休暇の短縮がすでに決定されており、学校行事も例年通りに実施できるかは不透明なままです。学校だけでなく社会全体が、普段であれば、“例年通り”ですんでいたことが、すべての事柄において再検討が必要となってしまいました。これからの数年間は、社会の様々な仕組みが変化していく必要があり、その中には、当然ながら我々の PTA 活動も含まれていると考えています。

今年度より、PTA の体制を、保護者の全員参加制から、希望者の入会制に切り替えさせていただきます。また、本総会での審議事項にもなっておりますが、「負担の公正性」の観点から、会員の皆様からお預かりした「会費」を資金とする体制から、会員を含めた全保護者の皆様から徴集した保護者費からの「補助金」を資金とする体制に変更したいと考えております。これらの変更により、当校の PTA が問題ない状態になったわけではありません。より良くするため、また新たに生まれてくる課題に対するため、変化していく必要があると考えます。会員の皆様より、様々な視点からのご意見をたまわりますよう、お願いいたします。

今回、PTA の活動方針についても、昨年度までの内容から少し変更して提案させていただきます。多くの活動を自分たちで実施する子供たちですが、ふと立ち止まって悩んだときに、「自分たちは、保護者と先生方より守られているんだ」と思うような活動でありたいと考えています。

今年は、人類の歴史に残る変化の年になると思います。会員の皆様のご協力を仰ぐ事態が発生するかもしれません。皆様のご協力の程、よろしく申し上げます。

杉山 樹利